

特別法要について
 高田本山では来る令和五
 (二〇二三)年五月二十一日(二
 十八日)にわたり、左記の特
 別法要が厳修されます。

開山親鸞聖人御誕生
 850年奉讃法会
 立教開宗800年
 奉讃法会
 中興真慧上人500
 年忌奉讃法会

聖徳太子1400
 年忌奉讃法会

開山親鸞聖人は承安三年
 四月四日(二七五/二七)に誕生
 され、令和五年は御誕生八
 百五十年となります。また、
 顕浄土真実教行証文類を著
 わされ、真宗を開かれたの
 が元仁元年(二二四)であり、
 令和六年には立教開宗八百
 年になります。

高田派第十世真慧上人
 (四三三-四五三)は第九世定顕上
 人の子息として誕生されま
 した。若くして下野の寺本
 を離れ、近江の坂本に居を
 構え、各地を教化されまし
 た。その後、一身田に無量壽
 院を建立され、その後本山を
 下野から伊勢へ移され、現在
 の高田派隆盛の基を築かれ
 ました。よって中興上人と

彌陀のよび声
 「なもあみだぶつ」を
 聞いてゆこう

特別法要

高田本山 専修寺 国宝

開山親鸞聖人御誕生850年/立教開宗800年/中興真慧上人500年忌奉讃/聖徳太子1400年忌

聖 徳太子が日本に仏教を受け入れ、親鸞聖人がその中から浄土の教えを弘められ、真慧上人がその念仏の教えを伊勢・三河・越前の地に伝えられました。このお三方の奉讃法会並びに立教開宗八百年の四法会を令和五年五月に厳修し、その教えに出遇えたことを皆様と共に慶びたいと思います。

護法 第52号

発行 福井県真宗高田派護法団
 福井市花堂南2-10-35
 真宗高田派福井別院

尊称申し上げます。
 聖徳太子は(五七四)六三三)聖
 人が「皇太子聖徳奉讃」和
 讃七十五首をつくられ、「和
 国の教主」と讃歎しておられ
 ます。また、この法要の記念
 事業として、



一、法主殿の著わされまし
 た日本仏教研究の緒論考「善
 光寺と親鸞 日本仏教史の
 諸相」を発売。善光寺との
 関係性など、親鸞聖人研究
 に新たな側面を開示する論
 考ほか、行基の仏教から近
 代の浄土真宗まで広範囲に
 考究されています。



二、老朽化
 現宝物館を建て替えた
 物館を建設いたします。
 現在の宝物館は、宗祖七百
 回大遠忌法要の記念事業と
 して昭和三十七年に建設さ
 れました。以来六十年余経
 過し、老朽化が甚だしく、

耐震・耐火・耐水に不安を
 来しており、建て替えが長
 年の懸案となっておりまし
 た。このたび特別法要を
 機として新宝物館を建設す
 る運びとなりました。現在、
 法宝物はすべて運び出し、国
 宝・重要文化財等は三重県
 博物館(ミエム)に委託して保
 管していただいております。



三、本山と別院を双方向通
 信で結び、遠隔の方々とも
 会議・研
 修等を行
 えるよう
 にしてい
 ります。



つきましては、新型コロナ
 の影響により延期しており
 ましたが、八月から開始す
 る予定です。法主殿を先頭
 に、福井の皆様親しくお
 目にかかり特別法要のご案
 内をいたしたいと存じます。
 以上、令和五年特別法要
 をにぎにぎしくお迎えする
 ためご支援ご協力の程よろ
 しくお願い申し上げます。

特別法要事務局 押小路 蓮円

法衣・寺院用仏具・念珠・稚児貸衣装
 仏教用品総合製作

ヒサノ法衣仏具

〒910-0019 福井市春山2丁目8-26

TEL:0776-21-3515 FAX:0776-21-3559
 E-mail:hisano@ruby.ocn.ne.jp

ごぞんじですか?
 お部屋や設置場所に合わせてSizeDown!

お仏壇を小さくできます。

コンパクトリフォーム

株式会社 サワザキ佛壇店

〒910-0373 福井県坂井市丸岡町高柳2-16
 TEL:0776-66-6560 FAX:0776-67-1050

大本山永平寺御用達
 和蠟燭製造・薫香 卸

大黒屋本舗

〒918-8001 福井市つくも1丁目5の22
 TEL(0776)36-3747(代)
 FAX(0776)36-7087

このたびの大法会を機会に、檀信徒とともに手を携えて。

慈光照護のもと、檀信徒の皆様、護法団員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、図らずも福井県真宗高田派護法団団長を拝命し、その重責を担うこととなりました。もとより浅学非才の身ではあります。が、副団長の常楽寺様をはじめとする護法団理事の方々のお力添えをいただきながら、微力ではありますが与えられた職務に邁進する所存でございます。なにとぞ前団長同様、格段のご指導、ご支援をお願いいたします。

さて、今回の「護法」第一五二号でもお伝えしておりますように、令和五年に、「開山親鸞聖人御誕生八百年、立教開宗八百年、中興真慧上人五百年忌、聖徳太子千四百年忌奉讃法会」が御本山にて執り行われます。昨今は宗教離れが進み、人々の心の混迷が大きく取り沙汰され、寺院を取り巻く環境も次第に難しいものになっております。また、今年は新型コロナウイルスの蔓延により、日本でも多くの方々が罹病し、千人余りの方が尊い命を失う

二組 勝林寺住職 武田純真

事態となりました。経済が混乱し不自由な生活を長期にわたり強いられて人々の心に大きな影を落としております。

このたびの大法会を機会に、聖人の説かれた真実の教えに接し、一人でも多くの方が心の安寧を得られますように、護法団員・檀信徒とともに手を携えていければと願っております。

合掌

護法団理事役員名と担当業務

令和2年5月、令和4年5月

一組

- (副団長) 常楽寺 伊藤雅念
- (理事) 遠成寺 井田光圓
- (監事) 顕正寺 有馬善明

二組

- (団長) 勝林寺 武田純真
- (庶務会計) 稱名寺 置 転法輪智見
- (理事) 教林寺 三浦世雄
- (理事) 正行寺 佐々木照信
- (理事) 浄善寺 朝倉光宣
- (監事) 真浄寺 日下康正

※二組は旧二組と旧三組が合併したものである

特集 シリーズ福井の寺々 IX

越前高田派 寺院探訪 第9回 風尾山勝鬘寺

風 尾山勝鬘寺は大同元年(806年)空海の創建であるが、真宗高田派としての開基は、実盛の孫の唯明(俗名左馬允景忠)とされている。唯明は、源平時代の武将斉藤別当実盛の孫で、左馬



風尾山勝鬘寺全景

允景忠と称したが、実盛討ち死に後、子孫は武蔵野国長井にあつたが、景忠の代に越前国に移住、建長三年高田派第三世顕智上人の北陸教化にめぐり会い、その門弟となられたのである。そのころ越前国丹生郡武周村に



足引の阿彌陀閣浮檀金像

子像(木像)を安置して、この寺を唯明に付属せられた。それ以来、越前に於ける高田教団の重鎮として強化活動に尽くして来たのである。

当寺歴代住職のうち、第二十九世長井眞琴は印度哲学、就中パーリ律典の権威であつて、文学博士の学位を持ち、東京大学教授、次いで東洋大学教授となり、著書も多い。又、眞琴の弟の律は真向法の創始者であり、長井満は海軍少将として、長井洗は陸軍中尉として活躍された。



天正三年織田信長禁制

- ◆ 勝鬘寺(寺宝)
- ◆ 足引の阿彌陀閣浮檀金像
- ◆ 斎藤別当実盛兜中守本尊
- ◆ 正和五年山尾敷寄進状写
- ◆ 天正三年織田信長禁制



風尾山勝鬘寺・住所: 910-3516 福井県福井市風尾町4-14 電話: 0776-97-2206

和蠟燭・薫香の製造販売
コタイコクヤ
呉服町
小大玉香
0120-22-0986
福井市順化2-15-9

思いやり・感謝で育む人・未来
かじそ仏壇
0120-54-1932
御用は-休-さんに
ホームページ <http://www.kajiso.co.jp/>
福井総本店: 福井県福井市米松2丁目24-36
電話 0776-54-1933

まこと
感謝の礼拝 誠実の心
大佛堂
仏壇おせんたく・念珠・経本・お線香
株式会社 **林大佛堂**
福井市春山2丁目6-13 (東別院前)
TEL0776-23-0711

ひとくち法話

「古希も過ぎて」

二組 西生寺住職 橋本昭壽

数年前になります、ある方から、ご自身がお書きになった書を、四点頂きました。

一点は、中国の南宋の時代の詩人、陸游(りくゆう)の漢詩を書かれたもの。

『老翁垂七十／其實似童兒』(老翁七十になんなんとする／その実童児に似たり。)

この年寄りはおはや七十にちかい

というのに、

実際はまるで子どもみたいなものだ。』となり

ます。



年を取ったら「可愛い年寄り」になれとよく言われますが、陸游もそう感じていたのでしょう。

戦後生まれの私は、七十歳を過ぎました。恥ずかしながら、うかうかと時を過ごしてきたという感はないです。七十歳という年齢をむかえ、「人生は思いの

ほか、短いものだな。」という、そんな思いをいたします。

もう一点は、中唐の時代の詩人、温庭筠(おんていじん)の漢詩を書かれたもの。

『玉樓明月長相憶／柳絲裊娜春無力／門外草萋萋／送君聞馬嘶』(玉樓明月長に相憶う／柳糸は裊娜として春に力無し／門外に草萋萋たり／君を送つて馬の嘶くを聞く。)

玉の高殿に明月の光るとき、いつまでもつきはてぬ思ひ出。糸のごとき柳の枝はなよなよとわが思ひのごとく、ものう

くやるせなき春の気配。門の外に生い茂る草。あの人を見送つて馬の嘶きを悲しく聞いた、あのときそのままの景色。」となります。

この詩は、女性が、男性とともに過ごした昔を思い起こしている情景を詠んでいる詩。額に入れ、玄関に掛けました。

ひとくち法話

「代替わり」

一組 要願寺住職 丹羽俊紹

あれは今から二十年ほど前の秋の夕刻のことだったと思う。小松での葬儀を前に、成田発デリー行のフライト時刻が迫っていた。国際線の場合、出発時刻の二時間前にチェックインを済ませるのが常識だが、なんと一時間ちょっと前にはチェックインできそう

な計算で、気を揉みながらの導師勤めと相成った。当の仏さんには申し訳なかったが、大手化学メーカー勤務との二足のわらじを履く私にとっては致し方ない状況であった。

幸い予定通り葬儀が進み無事

しか知らなかった私にとって

詩の意味とは異なりますが、年とともに、友が去っていきます。今年も、若い頃からの友を失ってしまった。もうかえってこない友を、この詩に重ね合わせて、泪します。

あとの二点は、半切(幅およそ35cmの画仙紙)に書かれた『南無阿弥陀仏』と、聯落ち(幅およそ53cmの画仙紙)に書かれた『南無阿弥陀仏』。

盛唐の時代の詩人、杜甫の漢詩、『酒債尋常行處有／人生七十古來稀』(酒債は尋常にして行く処に有り／人生七十古來稀なり。)

酒代の借りは、常に行くところにあるが、人が生きるのが七十年というのは、古くから稀である。と。人生七

まで生きるなんて、昔からめったにない、だから、こうして生きて

いるうちに思う存分飲もうというわけ。限りある人生を大切にしようということでしょう。

今日一日を大切に、今日会うことのできた人々を大切にしたいものです。

ロウバイ、マンサク、レンギョウ、梅、木蓮、桜、花桃、トサミズキ、シャガ、山吹、花菖蒲、紫陽花、サルスベリなどが季節の移ろいとともに最高の手入れをされた姿で目にすることができ、今では植物博士気分

で観賞を続けている。

今年九月に息子が嫁を迎えることとなった。三十三年前に自分達が結婚したときと同様に自坊での仏前結婚式を挙げる予定で、披露宴には門信徒

全員を招待する。寺の総次

代・役員に事の

色と香りを楽しめそう。

ひとくち法話

「悪性サラニヤメガタシ」

二組 光照寺住職 加藤智性

御開山が御自らの不確実さ、不完全さを吐露しておられる悲嘆述懐和讃、そのなかに「悪性さらになやめがたし」

蛇の如くなり」という一節があります。悪い本性は変えられないもので、それは恐ろしく忌み嫌われる蛇や蠍のようだ、というほどの意味でしょう。人間

だれしも、自分は聖人君子ではない、さりとて、他人の不幸を願うほどの悪人でもない、くらいに思っているものです。

でもはたして、

そのような人づてに聞いて

たお話ですけれども、ある若いお母さん、自分の小さいお子さんが重い心臓の病気で余命いくばくもないことが分かりました。何とか我が子の命を助けたらいい一心で、財産を処分し篤志を募って、アメリカへわたり心臓移植手術を受けることにしたのです。



を告げ協力をお願いしたところ、それはめでたい、全面的にお手伝いさせていただきます、饅頭まきもぜひやりましょうと盛り上がりつつある。

ロウバイにはソシンロウバイと満月ロウバイの二種類があり、ソシンロウバイのほうが黄色の色が濃く香りも強い。植物に詳しい会社の方から、あなたの家は雪の後に咲かせると喜ばれるので、

現在四株を育てている。来年は新しく迎える息子の嫁を加えて四人でロウバイの色と香りを楽しめそう。

さきアメリカの病院に入院したからといって、提供者がなければ手術が受けられるわけではありせん。一週間がたち二週間が過ぎましたが、なかなか提供者は現れません。そうしている間にも、日一日と我が子の病状は悪化していきます。そのうち、このお母さんは、金曜日の晩が待ち遠しくなった、

福井もそうですが、アメリカもクルマ社会です。週末、二週間の仕事を終えたお父さんが、妻と子供を乗せて車でレジャーに出かける。全米で、何千万組というファミリーが金曜日の晩に車で出かける、その何%かが交通事故で。もうお判りでしょう。そうした事故の結果、脳死状態の子供、つまり臓器提供者が現れる確率が最も高いのが金曜の晩だということです。お母さんは、我が子を救いたいと願うあまり、いつしか誰かの死を熱烈に願っている自分に気づくわ

けてす。提供者が現れるということは、その死を嘆き悲しむ私のような親がいるに決まっています。私は、なんと罪深いことを心に念じてしまったことか、このようにお母さんは悩み苦しんだという事です。しかし、誰がこのお母さんをとがめることができるでしょうか。いえむしろ、誰しもが同じ心境になってしまっていると思ふのです。このように、人はみな心の中に深く深い闇を抱えているのです。一刻も早く、自分がそのように罪深い存在であることに気づき、常に自らを省みつつ、日々を送りたいものところ

るがけています。

Advertisement for Kisyodo (吉祥堂) featuring services like '寺院莊嚴仏具' and '内陣漆箔工事'.

Advertisement for Kitayama (北山法衣仏具株式会社) featuring services like '法衣・幕・旗・記念品' and '寺院用仏具'.

Advertisement for Kitayama (北山法衣仏具株式会社) featuring services like '法衣・幕・旗・記念品' and '寺院用仏具'.

お仏壇・お墓の代用としても 納骨は福井別院

別院納骨のご案内

維持管理費 **無料**



別院納骨には次の三通りの方法がございます

一 納骨壇安置

特別納骨壇はスチール製で豪華な装飾を施した扉付きの特別仕様で個別区画でご遺骨をゆつたりお納め頂けます



納骨壇冥加金：**二十五万円**
●奥行284×高さ307×幅199(mm)

二 位牌壇安置

ご遺骨は合葬納骨口よりご納骨頂き別院特別仕様のお位牌を安置いたします。お位牌表面には「〇〇家先祖代々」と位牌壇表記、裏面には法名(二分)をお彫りします



位牌壇使用冥加金・位牌冥加金・法名彫りを含む
●奥行177×高さ330×幅180(mm)

位牌仕様

釋○○信土 釋○○信土
釋○○信女 釋○○信女

●位牌裏面には四法名までお彫りいただけます(初回三法名無料)二法名からは彫料三千円を申し受けます

三 一般納骨

「納骨壇」「位牌壇」を使用せず「納骨のみ」をご希望の方もご利用頂けます
一般納骨冥加金：**四万円**

納骨・位牌設置永代供養
「納骨・位牌堂法会」
毎年九月十五日に厳修いたします。安置加入者の方には、ご案内状をお届けしております

帰敬式のすすめ



帰敬式の様子

真宗の門徒にとつて、この式は、宗祖親鸞、聖人のご真影の前で佛・法・僧の三宝に帰依し、聞法する身となることをお誓いするという深い意味を持っています。――三宝の「佛」とは私たちを救わんと立ち上がったおられる阿彌陀如来であり、「法」とはそのみ教えであるお念仏であり、「僧」とは、佛と法に帰依して歩を共にする教団であります。この帰敬式を受けることは「第二の誕生」と言ってもよいでしょう。両親を縁としてこの世に生を受け、無自覚に、自分本位のままに歩んできた私が、新たに生まれ変わるという意味を持っています。この暗さが気づかされ自我中心の人生が迷いであったことに目を覚ましたときが「第二の誕生日」であります。そこには、すでに佛・法・僧の三宝を抛り所として歩むべき道が開かれています。佛弟子としての名乗りが、帰敬式を受けて法名を頂くということでもあります

帰敬式お申込み・お問合せ

本年は**十一月十九日**に勤修

福井別院では、二年毎の報恩講(例年十二月二十日)に法主殿をお迎えして「帰敬式」を実施しております。本年度は「帰敬式」勤修の年にあたり、広く門信徒の皆様にご案内申し上げます。お手続きまたは福井別院までお問合せください

四字法名授与

福井別院「帰敬式」では特別に四字法名が授与されます

注
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い福井別院では対応の「帰敬式」勤修につきましては福井別院までお問合せ頂きますようお願い申し上げます



福井別院 年中行事のご案内

御内佛 報恩講	(御年頭一月八日) 日中(午前十時)
御正忌	一月十五日 日中(午前十時)
春季 彼岸会	三月春分の日 日中(午前十時)
宗祖聖人 降誕会	五月二十一日 日中(午前十時)
永代経法会	七月十四・十五日 速夜(午後一時半)
位牌堂 法会	九月十五日 速夜(午後一時半)
秋季 彼岸会	九月秋分の日 日中(午前十時)
報恩講	十月十九・二十日 速夜(午後一時半)
宗祖聖人 ご命日	二月・四月・六月・八月・十月・十二月 速夜(午後一時半)
除夜の鐘	十二月三十日夜半

真宗高田派 専修寺 福井別院
〒918-8015 福井県福井市花堂南2丁目10-35 電話:0776-35-2299/FAX:0776-35-2291
mail:takadabetuin@yahoo.co.jp

令和二年度 本山褒賞授与
本山褒章を拝受して
昭和五十年に福井別院福事会を拝命して以来、四十二年の在職に努め、各組の心より感謝申し上げます。本堂に有難うございました。
二組 寶幢寺住職 佐々本泰秀

御門徒の皆さまへ
「維持費」納入のお願い
福井別院維持費 五〇〇円
直接、お手継ぎへ納入
各末寺に集まった「維持費」を一括して別院へ納入頂いております。ご門徒の皆様にも、ぜひ別院維持費納入をお願い申し上げます

6月	慈照寺 2 福井市ニヶ谷 本年度中止
9月	勝鬘寺 2 福井市風尾 5~6日 浄善寺 2 福井市鹿俣 第3日 曜日 鳳生寺 1 三国町覚善 18日 信行寺 1 三国町山王 27日 稱名寺 2 三国町黒目 28日 西方寺 1 福井市北潟 29日 西光寺 1 福井市縫原 29日
10月	西光寺 1 あわら市中川 1日 榮照寺 2 大野市牛ヶ原 2日 常樂寺 1 三国町加戸 3日 松樹院 1 三国町嵩 5日 真浄寺 2 大野市庄林 6~7日 安養院 1 あわら市二面 8日 法光寺 2 福井市折立 11日 勝久寺 2 三国町山岸 12日 圓光寺 1 三国町梶 12日 稱名寺 2 福井市御幸 12日
11月	本流院 1 三国町加戸 1日 大願寺 2 坂井町上兵庫 2日 勝光寺 1 あわら市北潟 3日 願教寺 1 福井市西天田 3日 正行寺 2 福井市足羽 3日 仙福寺 2 福井市南菅生 4日 寶幢寺 2 福井市南菅生 5日 珠光寺 2 福井市南菅生 7日 專福寺 2 大野市友兼 9日 寶林寺 1 三国町神明 9日 願教寺 1 三国町折立 9日 西生寺 2 福井市小幡 10日 勝林寺 2 福井市花堂南 12日
12月	願生寺 2 福井市鮎川 13日 要願寺 1 あわら市北潟 14日 光照寺 2 越前町三崎 16日 聖徳寺 2 福井市味見河内 17日 法圓寺 1 三国町北本町 17日 教林寺 2 三国町新保 21日 遠成寺 1 三国町南本町 23日 稱名寺 2 福井市折立 25日

令和二年度真宗高田派 福井県内 末寺報恩講
注
今般の新型コロナウイルス感染症の影響に伴いご門徒の皆様へ安全面を考慮し、各寺院では対応を検討しておりますが、本年度の末寺報恩講勤修につきましては各末寺までお問合せ頂きますようお願い申し上げます